

## QCP 簡易操作ガイド (2.データ入力)

HORIBA メディカルが実施する外部精度管理プログラム(QCP)の簡易操作ガイドです

詳しい内容については、WEB に掲載の取扱い説明書をご参照ください

データ入力には「日次データ入力」と「統計データ入力」の2つのパターンがあります  
1つのロットで両方のデータを入力することはできませんので、どちらかをお選びください

### ①日次データ入力 (測定データを1つずつ入力)

※日ごとの変動を確認するためにも、「日次データ入力」を推奨しています



(ア) 画面上部の[日次データ入力]タブを選択します

[日次データ入力]画面(下図)が表示されます

(イ) 画面左側の[機器名]、[年/月/ロット/レベル]の赤丸部分をクリックし、該当のものを選択します

(ウ) [測定/日/時刻]は「新規測定」の状態で、画面右側の空欄部分に測定日、測定データを入力します

(エ) データ入力完了後、画面左側の [送信]ボタンを押します

データが送信された内容のメッセージが表示されると完了です

(オ) データの送信完了後、入力されたデータが間違っていないか、送信済みデータの確認をします

※入力済みデータの確認方法は「3.QCP 入力データ確認方法」をご参照ください

項目	日付	時刻	値	単位
WBC				×10 <sup>3</sup> /uL
RBC				×10 <sup>6</sup> /uL
HGB				g/dL
HCT				%
MCV				um <sup>3</sup>
MCH				pg
MCHC				g/dL
RDW				%
PLT				×10 <sup>3</sup> /uL
MPV				um <sup>3</sup>

②統計データ入力(毎月の統計データを、翌月5日までにまとめて入力)



(力) 画面上部の[統計データ入力]タブを選択します

[統計データ入力]画面が表示されます

(キ) 画面左側の[機器名]、[年/月/ロット/レベル]の赤丸部分をクリックし、該当のものを選択します

(ク) 画面右側の[測定回数]、[Mean]、[SD]の欄にそれぞれ入力します

※あらかじめ、測定回数、Mean(平均値)、SD(標準偏差)を算出してください

(ケ) データ入力完了後、画面左側の[送信]ボタンを押します

データが送信された内容のメッセージが表示されると完了です

(コ) データの送信完了後、入力されたデータが間違っていないか、送信済みデータの確認をします

※入力済みデータの確認方法は「3.QCP 入力データ確認方法」をご参照ください

項目	測定回数	Mean	SD	単位
WBC				x10 <sup>3</sup> /uL
RBC				x10 <sup>6</sup> /uL
HGB				g/dL
HCT				%
MCV				um <sup>3</sup>
MCH				pg
MCHC				g/dL
RDW				%
PLT				x10 <sup>3</sup> /uL
MPV				um <sup>3</sup>
LYM%				%
LYM#				x10 <sup>3</sup> /uL
MON%				%
MON#				x10 <sup>3</sup> /uL